

議会 だより



令和5年1月16日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.231

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙



- 第4回定例会……………②
- 第2回臨時会、議会報告・意見交換会…③
- ズバリ市政を問う
(代表質問、一般質問) ……④～⑦
- 委員会……………⑧～⑪

令和4年

第4回 定例会

11月22日
、
12月16日
開催

第4回定例会開会日に、執行機関から「飯田市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について」など条例案件12件、「公の施設の指定管理者の指定について」など一般案件8件、「令和4年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案」など予算案件6件の計26件の議案の上程がありました。また、12月7日には、「工事請負契約の一部変更について」など一般案件2件の上程があり、今定例会では全28件の議案審議を行いました。

議案については、所管する常任委員会に付託し、委員会での審査を経て、最終日に全て原案のとおり可決しました。

指定管理者の指定について

指定管理者制度は、公の施設（普通地方公共団体が、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するために設ける施設）の管理・運営を、株式会社や営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図り、施設の設置目的を効果的に達成するために設けられた制度です。

飯田市では、「公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」により、指定管理者の指定を受けようとする団体の選定を行い、議

会の議決を経て、公の施設の指定管理者として指定しています。
今定例会においては、次の施設の指定管理者の指定を議決しました。

- ▼飯田市上村デイサービスセンター
「特定非営利活動法人わだの家（5年間）」
- ▼飯田市地域資源総合管理施設天龍峡活性化センター
「株式会社実りや（3年間）」
- ▼飯田市大平宿生活原体験施設
「株式会社南信州観光公社（3年間）」
- ▼飯田市上村若者センター
- ▼飯田市上村しらびそ高原施設
- ▼飯田市上村大島河原河川公園
- ▼飯田市上村農産物直売施設上村特産品直売所
- ▼飯田市上村農産物直売施設はんば亭
- ▼飯田市上村農産物直売施設村の茶屋
- ▼上村農産物加工施設
- ▼上村まつり伝承館「天伯」
- ▼上村山村ふるさと保存館「ねぎや」
- ▼以上9施設「株式会社大空企画（3年間）」
- ▼飯田市上村簡易宿泊施設高原ロッジ下栗
「合同会社チロルジャパン下栗（3年間）」
- ▼飯田市南信濃簡易宿泊施設
- ▼飯田市南信濃広場等利用施設
- ▼飯田市南信濃陶芸館
- ▼南信濃八重河内特産物加工施設
以上4施設「青崩会（3年間）」
- ▼飯田市南信濃森林林業情報発信施設
「遠山郷観光協会（3年間）」

▼飯田市南信濃夜川瀬特産物加工施設

「遠山郷やらまい会（3年間）」

▼飯田運動公園プール

「株式会社フクシ・エンタープライズ（5年間）」

▼飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館

「三穂まちづくり委員会（5年間）」



しらびそ高原施設



飯田運動公園プール

なお、指定管理料については、令和5年第1回定例会において、当初予算案として審査することになります。

請願の審査

今定例会では請願1件の審査を行いました。

【請願の要旨】

「国に対し、再審制度の速やかな改正を求め
る意見書を提出願いたい」

審査の状況は、総務委員会（8ページ）でご確認ください。

令和4年

第2回 臨時会

11月7日
開催

第2回臨時会では、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第15弾に関連する令和4年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案の審議を行い、原案のとおり可決しました。また、3件の専決処分報告を受けました。

- 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第15弾
—コロナ禍における電力・ガス・食料品等の価格高騰等への対応—
- ① 個人への支援[2事業]703,134千円
様々な困難に直面している世帯への国・県・市による緊急支援給付金等の支給
 - ▼ 物価高騰等の影響を受けている子育て世帯への子育て応援給付金の給付
 - ② 事業者等への支援[3事業]123,588千円
▼ さのこ生産者への事業継続支援
「さのこ生産者燃料価格高騰対策支援事業補助金の交付」
 - ▼ 社会福祉事業者への経営安定支援
「社会福祉施設等原油価格等物価高騰対策事業補助金の交付」
 - ▼ 移送サービス事業者への支援を通じた障がい者等の移動手段の確保
 - ③ 感染予防対策[1事業]182,217千円
▼ オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン接種の推進

「議会報告・意見交換会」で多くの ご意見・要望等をいただきました

各地区まちづくり委員会の皆様のご理解とご協力により、コロナ禍にもかかわらず議会報告・意見交換会を開催することができました。誠にありがとうございました。

9月28日(水)から10月7日(金)までの間に、市内14会場で開催した議会報告・意見交換会には、509人の皆様にご参加いただきました。また、議員が記録したご意見等と、ご参加いただいた方が記入されたアンケートのご意見等を合わせ、597件のご意見・要望等をいただくことができました。

皆様からいただいた貴重なご意見を各常任委員会で精査し、今年度末に作成する委員会の所管事務調査報告書にも反映させていただきます。

アンケート結果から、議会報告・意見交換会の内容について、約6割の方から「分かりやすかった」との回答をいただき、一方で、3割の方からは「どちらとも言えない」との回答をいただいております。皆様からの貴重なご意見をお聞かせいただく場として、今後の開催方法等工夫をしていきます。

597件の意見・要望等の分類

①～⑥に分類し、「回答を行う」としたものは、まちづくり委員会へお伝えしていきます。

①委員会として調査・研究（問題分析）を行うもの	219件
②予算要望等に関するもの	0件
③早急に回答を行うもの	5件
④年度内に回答を行うもの	28件
⑤市へ伝えておくべきもの	107件
⑥その他（市議会として聞き置くこととするもの）	238件



代表質問 4～5ページ

各会派を代表して一人が市政全般について質問します。会派の意見を次年度の予算に反映させやすいよう、飯田市議会では、12月（第4回定例会）に代表質問を行っています。

一般質問 6～7ページ

市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関側に、事業の執行状況、将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第4回定例会では、10人の議員が質問しました。



ズバリ 市政を問う

令和4年第4回定例会の代表質問と一般質問の概要を紹介します。

- ▶ 質問順に掲載
- ▶ 末尾の■は、他の質問項目
- ▶ 質問の様子は、YouTubeで動画配信しています。



市長の市政運営と予算編成方針に関して ～市民を巻き込み、一体感を持って目標に臨めば笑顔になれる～



代表質問 新政いいだ

木下 徳 康 議員

Q 市長の政治姿勢である対話により進めることと、即刻決断により進めることは効率の観点からどのように考えるか。

A 災害時、緊急時においては即断即決という場面もあるが、一般的には庁内プロセスを経て、最終的に議決を得て実行に移すという民主主義という仕組みの中で、政策をビルドアップしていく。できるだけスピーディーに市民の皆さんの思いに沿う形で政策を決め、実行していくためには、対話と決断の両者が必要ではないか。

Q 未来デザイン2028の基本目標を目指すことで、市民の幸福、笑顔が増える政策を実施することが重要と考えるがどうか。

A まちづくりの活動はいろいろあるが、市民の笑顔、幸せにつながる事が大事である。そういった気持ちでみんなが前向きに取り組んでいける、そんなまちななるように取り組んでいく。

■リニア中央新幹線に関連して
■地域DXと情報発信の推進への取り組みの方向性は
■定住・交流人口の拡大について
■歩いて周遊できる「山」・「里」・「街」について



リニア・三遠南信時代に向けたまちづくり、 災害に強いまちづくりについて



代表質問 会派きぼう

岡田 倫 英 議員

Q リニア駅周辺エリアは民間投資の促進を図っていく観点で、建築物の高さ制限をどう検討していくか。

A 地区計画の高さ制限などの基準については、設定した当時から時間の経過とともにリニア駅設置や駅周辺整備の情勢が変化しており、見直す必要性がある。今後の変化や地元との調整を踏まえ、検討していく。

Q 避難所等の生活環境整備に向け、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の確保をどう考えているか。

A 快適な避難生活を過ごせるよう、以前から推進している。避難所となっている施設の屋外トイレを令和7年度までに改修するよう計画的に進めている。また、温かい食事を提供できるように、県が主導しキッチンカー事業者と検討を始めたところであり、当市もそれにあわせて対応していく。ベッドについては、公的備蓄として簡易ベッド及び段ボールベッドを合わせて600台以上保有している。■市長の市政運営と予算編成について
■産業振興と移住促進について
■福祉分野における人材の確保について
■地域自治のあり方について
■小中学校の運営について



代表質問 会派みらい

原 和世 議員

Q デジタル田園都市国家構想に見る、明確なビジョンと戦略を立てDXに取り組みべきでは。

A リニア開業に加えて、デジタル技術の活用は地方へ人の流れを作り、新産業の創出や二地域居住、サテライトオフィスの誘致など新しい暮らし方や働き方の実現につながる。来年度の戦略計画の策定では、地域課題解決の有効な手段となるデジタル技術の活用や、将来を見据えたデジタル技術活用の基盤整備といった視点で、各事業の組み立てを行っていききたい。

Q スポーツが地域に活力を。天龍峡テニスコートと松尾総合運動場の照明、グラウンドの芝生化の取り組みは。

A 天龍峡テニスコートの夜間照明は、飯田市スポーツ協会や競技団体、川路地区や周辺住民の皆さんと協議を進め、最優先で整備していく。松尾総合運動場は、スポーツ協会や競技団体の皆さんとの現地確認で実態を調査し、整備に向けた検討を始めた。グラウンドの芝生化は、近隣町村との兼ね合いを考え、利用の用途や芝の選定など、年度内に方向性が決まるよう進める。

■学校教育課題に関して



コロナ禍を越え活力ある年に！ デジタル実装社会DXに向けた市政運営を問う



代表質問 公明党

小林 真一 議員

Q 多重危機の中、施策を打ち、課題解決を進める今、ムトスの精神を若者世代に継承する時と考えるかどうか。

A ムトスの精神、結いの力はこの地域の大きな要素、大きな力であるが、漫然としては、自然と次へ受け継がれるものではない。上の世代の姿を見て下の世代が受け継ぐものであり、今はその精神を受け継がれようとしている。次の世代につながるよう、市民の皆さんが生き生きと活躍するムトスのまちづくりを進めていく。

Q 2年間の対話で気づきや市の強みなどを再確認できた部分があったか、また今後の施策への落とし込みは。

A 現場に行き、市民と対話することなどで気付かされることはたくさんある。逆に対話がなく、市民と乖離（かいり）してしまうことは市政運営を危うくする。今後の折り返しの任期においても、市民の皆さんの思いや現場の様子から、乖離した市政運営にならないよう心がけていく。

■子どもを中心に据えた、子育てと教育について ■多様性を認め、持続可能な地域を創るには ■すべての人が幸せを実感できる地域について



日本一住みたいまちを目指し多重危機の中、市長の思いは対話と現場主義について任期折り返しにあたり総括は

議会のしくみ 「代表質問」編

飯田市議会では、議会代表質問を年に1度行います。代表質問にはどのようなルールがあるのか、解説します。

代表質問とは？

各会派を代表して市の施策課題等についての質問を行うことです。

代表質問はいつ行うの？

毎年、第4回定例会（12月議会）に行います。

代表質問の順番は？ 誰が行うの？

所属議員の多い会派から順に行います。所属議員が同数の会派がある場合は、順序を交代して行います。

質問者は1会派1人で、会派の中で誰が行うかを決めます。

質問の時間は？

各会派への割当て時間は、1会派当たり2時間以内としています。

質問の方法は？

1回目の質問は、議員が通告した質問主題の要旨すべてを一括して質問し、その後、市長などが一括して答弁する。「一括質問・一括答弁方式」で行います。

2回目からは、1つの質問事項ごとに質問と答弁を行う「二問一答方式」で行います。

介護予防への意識について

市 瀬 芳 明 議員 (日本共産党)



A 保健課や地域包括支援センターが継続的に地域に出向き、意識啓発を進めている。長寿支援課が毎月開催している「介護保険・健康セミナー」では、65歳を迎える方を対象に、介護予防の解説を行っている。「通いの場」の参加促進や住民主体で運営していくためには、地域への介護予防の意識啓発が重要であり、今年度はモデル地区で学習会を実施した。

Q 高齢者福祉計画の中に介護予防への意識を醸成していく必要があると記載があるが啓発は進んでいるか。

脱炭素と森林整備について

小 平 彰 議員 (新政いいだ)



A いいだ未来デザイン2028の中期計画の最終年に向けて5つの柱を掲げている。①省エネルギーの加速的推進②脱炭素な生活様式への転換③地域産再生可能エネルギーの創出④地域産再生可能エネルギーの活用⑤森林整備による吸収源の確保

今後の中長期的な視点としては、変化していく社会動向を見極め、最も効果の高い政策を選んで展開を行う。

Q ゼロカーボンシティに向けてどのように進めるか。

コロナ禍や新規事業等に対応する職場環境について

福 澤 克 憲 議員 (会派きぼう)



A 人員確保は、段階的に職員数を増やし体制を整える。令和6年4月には800人程度を見込んでいる。庁内の執務環境については、狭隘(きょうあい)である健康福祉部を含め、庁内全体のレイアウトを調査検討する。業務の効率化は、デジタル化を順次進めていくが、負担軽減策については議員提案も含め、実行可能なものを精査して対応していく。

Q 市民サービス向上のための人員確保や職場スペースの確保、業務の効率化を図る取り組みが必要では。

成年後見制度の利用促進について

宮 脇 邦 彦 議員 (公明党)



A 成年後見制度は権利擁護のひとつとして重い役割を担っている。特に高齢者には制度の重要性をより分かり易く伝え、身近なものとなるよう理解いただく工夫をしていきたい。制度の普及に伴い、今後支援者の担い手が不足することは大きな課題と捉える。国の計画による県の市民後見人育成方針に協力する中で、担い手の育成・確保を進めたい。

Q 成年後見制度を必要とする人の増加を踏まえ、市民後見人の育成などで普及促進を加速させては。

市内小中学校のペレットストーブ使用について

筒 井 誠 逸 議員 (新政いいだ)



A 現在は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、教室を定期的に換気する必要があり、ペレットストーブでは教室内の温度がなかなか上昇しないとの学校の声を聞く。ペレットストーブの能力的な問題で教室内の温度が上がらず、子ども達の生活や学習に支障が生じる場合は、補助暖房としてエアコンの使用を認める方向で検討を進めたいと考えている。

Q 小中学校のペレットストーブは、暖房機能が低く、暖かくないと聞いたが対策は。

遠山郷の振興について

西 森 六 三 議員 (会派きぼう)



A 新たな経営体による経営計画が、10年先20年先の経営を任せられるとの判断に至れば、市もスピード感を持って再開に向け取り組んでいく。温泉を復活するのであれば、三遠南信自動車道青崩峠トンネルが開通する時期を見据えていくことは重要である。再スタートに向けて、地元地区と協議・協力して進めたい。

■ リニア駅周辺整備について

Q 「かぐらの湯」の再開に向けた現状と今後の方向性は。

市の入札制度について

熊谷 泰人 議員 (新政いいだ)



Q 最低制限価格の設定基準を見直す考えは。また、行政DXを推進するために電子入札の導入はどうか。

A 最低制限価格の設定基準は、部分的な改定を繰り返してきたものの、現在も国や県の基準より低い設定となっている。これまでの落札状況や県内他市の状況を調査しており、見直しに向けて準備を進めている。電子入札については、導入に向けて検討中であり、しかるべき時期に導入できるように進めていきたい。

■主要道路の整備について

所有者不明の土地への対応について

永井 一英 議員 (公明党)



Q 不動産登記法の改正で相続登記の申請が罰則付きで義務化される。周知広報が重要だが、市の対応は。

A これまで固定資産の所有者がお亡くなりになった際には、地方税法の規定により「相続人代表者指定届」の提出を依頼している。令和6年4月からの相続登記の申請義務化に係る周知の重要性を認識しており、11月分から、法改正に関する内容の案内を「相続人代表者指定届」に同封し、周知に努めている。

■健康施策について

長野県飯田創造館の廃止に伴う市の考え方は

関島 百合 議員 (会派みらい)



Q 県と市で「飯田創造館」を飯田市が受け取る、受け取らないといったやり取りがあったのは明白ではないか。

A 県政のタウンミーティングで知事から話があったが、「飯田創造館は所在する地域に移管したい、活動が継続できる環境を市につくってほしい」というのが、県の一貫した考え方だった。この協議は、平成20年代から何回も行ってきた。そうした中で、飯田市には多数の文化施設があるため、移管に対する県の希望には添えないと話をしてきた経緯はある。

農家への緊急支援事業の検証と今後について

下平 恒男 議員 (新政いいだ)



Q 市で行う肥料価格高騰緊急支援事業と、国・県で行う事業との違いは。農家への周知の必要性は。

A 市が行う支援事業は、7月1日から12月31日までに納品した肥料が対象で、申請書の受付は2月28日までとなっている。国の事業は6月から来年5月までに購入した肥料が対象で、県の事業は国の支援に更に1割から3割を加算して交付する。詳細がわかり次第適切な周知を行いたい。支援事業は、市と国・県の両方に申請ができる。

令和4年度 三遠南信地域市町村議会議長協議会及び道路建設促進議員協議会総会

10月24日の「三遠南信サミット2022 in 南信州」の開催に合わせ、関係する議会で構成する「三遠南信地域市町村議会議長協議会」及び「道路建設促進議員協議会総会」を市内で開催しました。

コロナ禍のため、規模縮小にて開催いたしました。東三河・遠州・南信州の各地域から大勢の方にご参加をいただきました。

「三遠南信地域市町村議会議長協議会」の議事の協議の後には、飯田市の佐藤市長から、「リニア中央新幹線の整備効果を地域振興に活かす飯田市の取組」の講演が行われました。

また、続いて開催された「道路建設促進議員協議会総会」では、飯田国道事務所の大口所長より、「三遠南信自動車の整備状況」の現状報告が行われました。

今後も、県境を越えた一体的な発展と三遠南信道路等の早期建設の推進に向け、連携し、取り組んでいきます。



総務委員会

12月8日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市個人情報の保護に関する法律施行 条例の制定について（議案第81号）

個人情報保護の保護に関する法律の改正に伴い、飯田市個人情報保護条例を廃止し、同法の施行のために必要な事項を定める条例を新たに制定しようとするもの。

Q これまでの取扱いから変更される事項として、死者の個人に関する情報の取扱いがあるが、変わる点はどこか。

A 法では、死者の情報は、個人情報ではないとされているため、情報公開請求があったときの対応の根拠がこれまでの個人情報保護条例から、今後は飯田市情報公開条例の適用を受けることとなる。根拠は変更されるが、結果的に第三者からの請求に対しては、非公開となり個人の情報は守られる。

職員の定年引上げに関連した条例改正案 について（議案第82号、議案第84号から 議案第86号まで）

地方公務員法等の一部改正に伴い、国家公務員に準じて、職員の定年引上げ等に関

し必要な事項を定めるほか、所要の改正を行うもの。

【定年引上げの概要】

職員の定年を65歳とし、令和5年度から令和13年度にかけて、職員の定年を60歳から65歳まで段階的に引き上げる。（医師、歯科医師は、現行の65歳定年の引き上げは無し）

Q 定年引き上げの制度に関する、職員労働組合との調整や、職員への周知の状況は。

A 条例改正にあたって、職員労働組合とも検討委員会を立ち上げて検討を進めた。引き続き運用面で必要な調整を進める。条例改正後、60歳に達する年度に当該職員に情報を提供する必要がある、最初の引上げ対象となる職員へは今年度中に説明を行う。

《予算決算委員会総務分科会》 議案第101号一般会計補正予算（第8号）案

Q 公園等の落ち葉の堆肥化を進めるとのことだが、唐突な事業開始と受け止めた。これまでの検討経過は。

A 稲葉クリーンセンターへのゴミの持ち込み削減効果もあることから、昨年度から事業化の検討を行っていた。市内全域から受け入れるの堆肥化にはかなり広い場所を必要とするため、当初予算の段階では、場所の確保ができず予算計上に至らなかった。今回、一定の広さの場所を確保できたため、まずは公園等の落ち葉の堆肥化事業を行うこととした。

Q 堆肥化した肥料の扱いは。

A 堆肥化には約6カ月を要する。肥料となつた段階で市民に無料で提供する予定。現段階では量はあまり多くない見込みであるため、当面下久堅地区の方への提供を想定している。

請願審査
令和4年 請願第4号
国に対し、再審制度の速やかな改正を
求める意見書を提出願いたい

請願者
飯田市上久堅
日本国民救援会 飯伊支部長 原 正治氏

本請願審査では、11月22日に開催した委員会で、請願者等を参考人として招致し、願意趣旨等の意見陳述を求めた決定をしました。

12月8日の審査では、参考人から意見陳述として願意趣旨等を聴いた後、4人の委員から請願項目に関する考え方や、請願に至つた経過等に関する質疑が行われました。

委員からは、「継続審査」、「採択」のそれぞれの立場から発言があり、採決の結果、「継続審査」と決しました。

なお、本請願につきましては、継続審査としたことから、閉会中の継続審査を決定し、委員長から議長へその旨の申し出を行いました。

社会文教委員会

12月9日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市立診療所条例の一部を改正する条例の制定について（議案第88号）

今年5月末に診療を再開した飯田市立千代診療所の診療時間を変更しようとする条例の改正案について審査しました。

Q ひと月で1日分の診療時間が減ることになるが、その影響について議論はされたか。

A 地元との協議の中では、平日は多くの患者はいない。土曜日は家族が送迎できるの、土曜日は月に何日か開所してほしいとの意見があり、反映した。

Q 土曜日は、現行では毎週午前に診療があるが、改正によると第2、第4土曜日は休診となる。影響があるのでは。

A 地元の皆さんからは、土曜日の患者は多くないが一部の方から希望があるので開所してほしいとの意見があった、土曜日に毎週かかる患者はあまりいないと考えており、薬をもらいに診療所に来られるとすれば、月に1、2回の頻度だと思っ

飯田市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について（議案第92号）

飯田市奨学金貸与制度の貸与要件の拡大や書類手続きの簡素化、返済の一部免除制度の対象拡大を行うとする条例の改正案について審査しました。

Q 既に在学している方も償還免除制度が適用となるのか。

A 新規の貸付は令和5年度の申請者からとなる。奨学金の免除については、返済が始まっている方でも令和5年度から免除の対象となる。



Q 本来申請すれば認めてもらえる学生や家庭が申請をしなかったというケースも想定できる。対象を広げ、できる限り多くの方に奨学金を利用いただくことが条例改正の趣旨であるとすれば、どう周知していくのか。

A 審査委員の高等学校長からは、夏の時期や2学期に周知することが大事とアドバイスをいただいている。さらに周知を徹底していきたい。

公の施設の指定管理者の指定について（飯田運動公園プール）（議案第98号）

Q 前回の指定の際には、市民プールもあり2個所の管理範囲となっていたが、今回の指定に入っていない理由は。

A 市民プールは、昭和35年の整備から2年経過しており、施設の老朽化が大きな課題となっている。飯田市公共施設マネジメント基本方針を踏まえて今後のあり方を検討している。

《予算決算委員会 社会文教分科会》
議案第101号一般会計補正予算（第8号）案

中部デイサービスセンター・障害者生活ケアセンターの指定管理料について

Q 事業費や事務費が増加する要因は。年度当初に見込むことはできなかったか。

A 今年度からの指定管理者は、重度の障害者の受け入れが初めてであり、どれくらい事業費等がかかるのか見込めなかった。また、昨年末にコロナがまん延しており、前指定管理者との引継ぎが十分できないまま年度末を迎え、物品等の確認ができなかった。

県小学校敷地内のポプラの木の伐採について

Q 伐採は学校行事として児童出席で行うのか、危険が伴うので休日に行うのか。

A 高さが30mあるので、伐採時に児童が周りにいない時が良いだろうということがある。また、ポプラの木とお別れ会を行うといったことも考えられることから、学校と十分相談をしながら進めたい。



昭和36年度
入学生の記念植樹

産業建設委員会

12月12日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について (議案第91号)

県が所管する「風越公園」の一部を、市へ移管するために条例の変更を行うもの。

Q 風越公園の一部が県から移管されるのはいつか。また、移管されるまでの流れはどうなるか。

A 市の公告日を令和5年4月1日に実施し、移管日も同日となる。土地貸与の賃貸借契約と施設譲渡の契約を令和5年2月から3月に行えるよう準備を進めている。3月下旬に契約を完了し、4月1日から市が管理を行う。なお、土地の譲渡についてはその後の契約となる。

工事請負契約の一部変更について (産業用地整備事業龍江インター産業団地整備事業) (議案第107号)

Q 約5、200万円の増額だが、企業誘致に影響があるか。

A 産業用地の整備に係る費用は、完成後の売却費用に含まれる。売却費用に上乗せになるが、基本的には企業誘致に影響はない。

公の施設の指定管理者の指定について

(飯田市大平宿生活原体験施設)
(議案第95号)

Q 体験教育旅行ができる貴重な施設であるため、大切にしていきたいが、老朽化も進んでいる。10万円以下の修繕は指定管理者の負担となっているが、大規模な修繕にはどのくらいの金額を使って修繕を行うか。



[大平宿紙屋・南信州観光公社主催ツアー]

A 市が負担した修繕としては、100万円から200万円の修繕を実施した例がある。

公の施設の指定管理者の指定について (飯田市上村若者センター等) (議案第96号)

Q 施設の借地管理や借地料金の見直しは行っているか。

A 遠山郷の観光関連施設はほとんど借地である。毎年度の契約更新ではあるが、見直しの協議も行ってきている。公共施設マネジメント基本方針に則り、施設の集約化・多機能化等を検討している。その中で整理をしながら、見直しや借地の返還についても、丁寧の説明しながら進めている。

《予算決算委員会 産業建設分科会》

議案第101号 一般会計補正予算(第8号)案

リニア推進事業及び

リニア駅周辺整備事業費について

Q 委託料の減額は、埋蔵文化財調査が実施できないためとのことであるが、年度末の補正ではなく、今回の補正とした理由は。

A 委託料は、国の交付金も含まれているため、県へ返還する手続き等を考慮し、今回の補正予算で計上した。

Q 市道上郷489号、490号線整備費が当初より1.5倍ほどの増額補正となっている。当初予定していた工事施工より順調に進んでいるとの捉えでよいか。

A 地権者との交渉や工事について地域の方からの理解が得られ、工事が進捗しているための増額である。

合併浄化槽整備事業費について

Q 個人が管理する合併処理浄化槽の清掃費用に対し、合併処理浄化槽清掃補助金として助成をしているが、今回補正する理由は。

A 令和4年度上半期の実績が前年度に対し7%増となったため、下半期の清掃実施基数を推測し、増額した。増額の要因は、令和3年4月から清掃補助金助成額を拡充したことが一因であると考える。

リニア推進 特別委員会

12月14日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

駅周辺整備区域内の埋戻し材の仮置きについて

松川工区のトンネルから発生する良質土10,000〜12,000m³程度を、市が実施する土曾川横断道路の橋梁（きょうりょう）整備工事等に使用する埋戻し材料として駅周辺整備区域内の南側に一時仮置きし、各事業に使用していくこと。また、運搬期間は、令和4年12月1日から翌年2月28日までを予定するとの説明がありました。

Q 12月1日から始まった埋戻し材の運搬に関して課題は出ているか。

A 現在まで約2,000m³弱の埋戻し材の搬入を行っているが、住民等から意見、質問などはいただいている。



国道や県道の交通渋滞の抑制も含め、住民生活への影響を低減するために運搬期間を考慮して進めている

市道上郷489号・490号線（仮称）「イオン前道路」工事の今後の予定について

県道市場桜町線から、新戸川（しんどがわ）の川沿いとイオン飯田店の駐車場部分を通り、代替地の整備で拡幅した道路までを接続する区間の新設の道路となること。また、当該道路の一部については、現在、工事発注の手続きを行っており、契約後に工事計画を立て、令和5年2月末以降に着手する旨の説明がありました。

さらに、工事期間中の既存道路や国道との接続については、今後警察と協議を行っていくため詳細は未定であること。また、国道153号の拡幅工事については、長野県が施工を行い、新戸川の国道横断部分と、国道迂回路の工事を一組の工事として計画されているとの説明がありました。

Q 現在の国道の幅員よりも迂回路は狭く見えるが、交通量の見込は。

A 県からは、現在の国道の幅員を確保して機能を維持していくとの説明があった。

Q 今回の国道改良区間にあたる箇所が、普段から日中の渋滞が激しい箇所となっているが、交通整理を行うなどして順調に交通を流していけるとの見通しで進めているか。

A 県は、現在、請負契約の手続きを行っており、詳細の工程、工事の内容等を詰めた上で、調整を図っていく予定。様々な状況をふまえて県との協議を行っていききたい。

リニア駅周辺整備事業土木実施設計に対する政策提言を実施



リニア駅周辺整備事業に関わる土木実施設計について調査研究を行い、委員会での審議と全議員での協議をふまえて、11月18日付けで市長に対して政策提言を行いました。

リニア駅周辺整備事業 土木実施設計
に対する政策提言6項目



詳細は
こちら

- 【提言1】 ランドスケープについて
(駅から降り立った際の景観の見え方など)
- 【提言2】 グリーンインフラについて (土曾川など)
- 【提言3】 リニア駅とのアクセスについて
- 【提言4】 庁内横断的な組織体制の構築について
- 【提言5】 リニア効果の最大化を目指すための市民意識の醸成について
- 【提言6】 リニア駅周辺整備事業における地元との協議について

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～運動会～

ふく ざわ かつ のり
福澤 克憲

子どもの頃、私は近所のおばさんたちに「カッチャ」と呼ばれていました。

私の育った地域は、商売人が多く、お店があるから学校行事や参観日はほとんどの方が参加できない環境でした。そんな中、地区の運動会は中学生が応援団という花形を任される一大イベントでした。午前部が終わり、お昼の時間…、お弁当を頼むのを忘れていました(涙)。途方に暮れていると、「カッチャこっちに来て一緒に食べな!頼まれとるで」と声がします。いろんな家に呼ばれて食べるお昼は最高でした。今でも「運動会」と聞くとワクワクするのは、商売人の連係プレイが脳裏に焼き付いているからだと思います。そして今も近所のおばさんたちは「カッチャ」と呼んでくれます。



～我が家のアイドルたち～

たけ むら けい し
竹村 圭史

我が家には、5歳の柴犬「空(そら)」♀と推定10か月の三毛猫「風(ふう)」♀という住人(?)がいます。

生まれたてで何にでも興味を示す「風(ふう)」と出会ったのは5月中旬。地元の剣道の先輩宅に育児放棄されたらしき子猫を長男と一緒に見に行き、帰るために車に向かって歩き始めたところ、後を追いかけてきたものだから長男が「もうたまらん」となり、家族を説得して1週間後に譲り受けました。

風は家の中で飼っているため、外へ出られない代わりに家の中で大運動会をしたり、空に構ってもらいたくて近寄ったりと(空は迷惑なようですが…)、傍目から見ればお互いそれなりに楽しんでいるようです。

「空」も「風」も我が家の可愛いアイドルです。

議会の動き(予定)

■第1回定例会

開会2月22日(水)～閉会3月20日(月)

◇一般質問 (傍聴可能)

3月9日(木)、10日(金)

◇委員会日程 (傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会 2月22日(水)

総務委員会 3月1日(水)、2日(木)

社会文教委員会 3月2日(木)、3日(金)

産業建設委員会 3月3日(金)、6日(月)

リニア推進特別委員会 3月14日(火)

予算決算委員会後期全体会 3月16日(木)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ

2月8日(水)午後5時までにご提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻、つえ、傘の類を着用し、又は携帯してはならないことになっています。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので係員にお申し出ください。)

ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長/福澤 克憲 副委員長/清水 勇
委員/下平恒男 橋爪重人 関島百合
筒井誠逸 小林真一 佐々木博子

表紙紹介

がんばっとるに上久堅

昨年9月に上久堅地区にある北田遺跡公園内の北田遺跡縄文時代復元家屋が完成し、お披露目会を開催しました。式典は、秋晴れの中、来賓をはじめとする約60人が参加し、除幕式では、学習の一環として北田遺跡の復元の体験をした上久堅小学校6年生の皆さんが参加して、「北田遺跡」と字彫りされた石碑の除幕を行いました。この北田遺跡については、今後のあり方について、地元住民と飯田市が協議を重ね、今回の改修となりました。今後の遺跡の活用方法については、地元の子もたちを中心に学習の場となり、また、イベント広場として多くの人が集い、見学や観光等で訪れた方とのふれあいの場となるよう「上久堅のシンボル」として後世に伝える公園を目指して、まちづくり委員会や公民館によって運用していきます。

ぜひ、上久堅にお越しの際はお立ち寄りください。

